

のカミキリを得たので報告しておく。これらはすべて、すでに記録されている種である。

1. ヒメクロトラカミキリ*
Rhaphuma diminuta (BATES)
多数, シイの花上。
 2. アラカワシロヘリトラカミキリ
Anaglyptus arakawae KANO
多数, シイの花上。
 3. ハチジョウウスアヤカミキリ*
Bymetopia japonica heiana HAYASHI
少, メダケのピーティング。
 4. *Asaperda* sp. (シナノクロフカミキリに近似の種)
多数, ハチジョウグワの枯枝。
 5. ハネナシチビカミキリ
Palausybra hachijoensis HAYASHI
1 ex., 枯枝?のピーティング。
 6. オオキハネナシチビカミキリ
Pseudale izumikurana HAYASHI
3 exs., 枯枝?のピーティング。
 7. ハスオビヒゲナガカミキリ
Cleptometopus bimaculatus (BATES)
1 ex.
 8. アトモンサビカミキリ*
Pterolophia granulata (MOTSCHULSKY)
少, ピーティング。
 9. ナカジロサビカミキリ
Pterolophia jugosa (BATES)
1 ex.
 10. トカラヤハズカミキリ*
Uraecha gilva YOKOYAMA
2♂♂ 1♀, タブの新しい枯枝。
 11. オキノエラブコブヒゲカミキリ
Rhodopina okinoerabuana komiyai HAYASHI
1♂, 燈火
 12. ドイカミキリ*
Doiis divaricatus (BATES)
多数, ヤツデ・ミズキの枯枝。
 13. シラホシカミキリ
Glenea relecta BATES
多数, ツタを後食。
 14. リュウキュウルリボシカミキリ
Glenea chlorospila GAHAN f. *hachijonis*
多数, ツタを後食。
- 以上14種であるが, 5月上旬の三宅島***)と共通するものは5種(*印)である。シイの花は満開で, トラカミキリの2種はすべてこれより採集した。 *Asaperda* sp.

はハチジョウグワの枯枝より得られたが, 採集された所は比較的限られていた。

***) 藤田・小笠原 (1977): ELYTRA, 5(1), pp. 19~20
(〒175 板橋区高島平 2-28-1-704)

石垣島にて採集した ピロウドカミキリ属の1種について 岩橋 正

石垣島オモト岳において, 今まで同島より知られていなかったと思われる *Acalolepta* を採集したので報告しておきたい。

1♀, 石垣島オモト岳, 11. vi. 1977, 岩橋正採集
体長21mm. 一見, 台湾の *A. formosana* BREUNING
によく似ている。



同島からはインガキピロウドカミキリ *Acalolepta ishigakiana* BREUNING et VILLIERSが記載されている(現在のところ, Type標本の1♂しか得られていない)が, この種は原記載*)によると体長が12.5mmと小さく, その他の特徴や写真から判断するとアナバネヒゲナガに近いもので, 今回得られた個体とは別なものと思われる。

オモト岳中腹で, 雨天の中, 広葉樹の枯葉をピーティングして採集した。カミキリ屋は一般に石垣島へは4~5月に多く訪れているようだが, こ

の *Acalolepta* は6月以降に発生するため今まで発見されなかったのかもしれない。

*) BREUNING, S. & VILLIERS, A. (1973): Bull. Soc. Ent. France, 78(1/2), pp. 49~50
(〒830 久留米市南町花園 11-4)

ミヤマケシカミキリの分布追加記録

草間 慶一・多比良 嘉晃

筆者らは本誌前号 (Vol. 5, No. 2, 1977) でミヤマケシカミキリ *Exocentrus montilineatus* KUSAMA et TAHIRA を記載した*)が, この種の採集記録として以下があるので追加報告しておきたい。

産地の追加として:

1♂1♀, 長崎県対馬有明山山頂付近, 28. vii. 1975, 高橋和弘採集; 1♀, 福岡県宝満山, 13. vii. 1968, 入江平吉採集; 4♂♂1♀, 宝満山, 8. vi. 1969, 入江採集

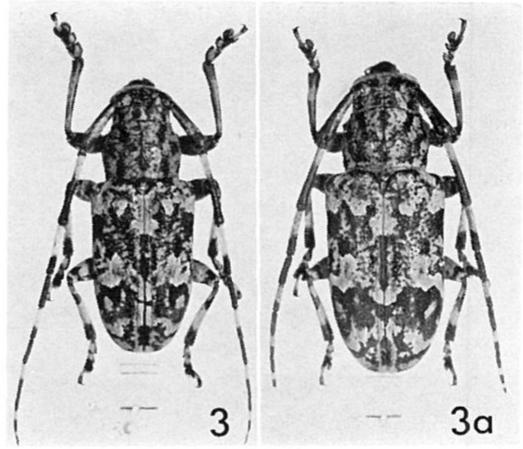
採集記録の追加として:

2♂♂3♀♀, 大分県久住山, 24. vii. 1977; 3♂♂3♀♀, 宮崎県白岩山, 25. vii. 1974, いずれも入江採集

これらの記録は前号に掲載する予定であったが, 初校の刷りあがり後に御教示いただいたので, 出版期日との関係上入れることができなかつたものである。ここに改めて入江, 高橋両氏に厚く感謝申しあげたい。

*) K. KUSAMA, Y. TAHIRA (1977): ELYTRA, 5 (2), pp. 39~42

(〒422 静岡市大谷 836 静岡大学理学部)



5♂♂4♀♀

枯枝のビーティングおよびフクギの倒木にいたものを採集した。体型・上翅の斑紋共インガキゴマフ *Mesosa yonaguni subkonoi* に似るが, 前肢が長く, この点ではアシナゴマフ *M. praelongipes* に近いような印象を受ける。すなわち上記2種の間のようなカミキリで, きわめて興味深い。♂の腹部の先端は *M. praelongipes* のようには突出しておらず, 筆者は見えていないが池間島で得られた *Mesosa* sp. (*M. praelongipes* に近く, ♀の腹部先端は突出しているという)とも異なるように思われる。

3. アトモンチビカミキリ

Sybra baculina miyakoana HAYASHI

4♂♂1♀, 枯枝のビーティングで得られた。

4. フタモンサビカミキリ

Ropica caenosa (MATSUSHITA)

2♂♂1♀

5. イマサカドウボソカミキリ (写真2)

Pothyne imasakai HAYASHI

1 ex., つる性植物の枯れた部分のビーティングで得られた。

ごく最近記載された種で, 原産地の与那国島以外では石垣島の北部でしか採集されていない(石垣島は未発表)。上記の1 ex. は体長10mmと著しく小型の個体である。

原産地の与那国島産および石垣島・伊良部島産のすべての個体が, 原記載とは色彩・触角末端節の長さが異なるが, 他にはまったく *imasakai* の記載に該当するような *Pothyne* はいないので, 現時点では *imasakai* と同定しておく。

末筆ながら, 5. の種の同定には高桑正敏氏より多くの御教示をいただいた。明記して深謝したい。

(〒114 北区王子本町 1-15-8)

伊良部島のカミキリ

小倉 直樹

筆者は1977年2月中旬より6月下旬まで南西諸島の各島嶼を調査する機会を得たが, その際, 宮古列島の伊良部島において興味深いカミキリを採集しているので報告しておく。

伊良部島は起伏の少ない平坦な小島で, 採集は比較的林の残っている佐和田付近で行なった。採集したカミキリは次の5種で, すべて1977年6月4日に得た。

1. タイワンメダカカミキリ (写真1)

Stenhomalus taiwanus MATSUSHITA

1 ex., 著しく黒化の傾向を示している。

2. *Mesosa* sp. (写真3, ♀; 3a, ♀)

